

質問回答

NO.	質問	回答
1	設立予定の共創拠点は、物理的な拠点を想定しているのか、バーチャルな拠点を想定しているのか、現段階で方向性に定めはありますか？	バーチャルな拠点を想定しています。
2	共創拠点の主体は国立環境研究所になるものと理解をしておりますが、認識に誤りはないでしょうか。また、本検討業務における国立環境研究所との具体的な連携方法について、何か指定はありますか？	共創拠点の拠点は現状、ご認識のとおり国立環境研究所を想定しています。また本業務においての連携方法に指定はありませんが、各打合せ等で国立環境研究所とも随時連携することを想定しています。
3	環境省や国立環境研究所で、すでに運用している環境データプラットフォームはありますか？ 共創拠点の活動の一環として、環境データプラットフォームの開発・運用を行うことを想定したものでしょうか。	国立環境研究所で既に運用している環境データプラットフォームとしては地球環境データベースやAP-PLATがあります。将来的にはデータプラットフォームの開発・運用も想定しています。
4	業務には「有識者ヒアリング」が含まれておりますが、ヒアリングを行う有識者は、貴省からご指定がありますでしょうか？それとも受託者側で調整を行うものでしょうか。また、ヒアリング対応における謝礼に関しても定めがあればご教示いただけますと幸いです。	有識者は請負者から提案していただき最終的に環境省と協議して決定します。謝金は「謝金の標準支払基準」に基づき支払って頂きます。
5	本業務で検討対象とする「環境データ」の内容や範囲を具体的に教えていただけますでしょうか。	気候変動、資源循環、生物多様性などに関する情報を想定しています（例：GOSATの観測データや、再生プラスチック材のデータなど。）
6	国立環境研究所ではこれまで、地球環境研究センターにおいて、「地球環境データベース」の構築・公開を進められてきたと認識しておりますが、この取組と本業務とはどのような関係にあるのでしょうか。	地球環境データベースとの連携については、今後、検討していくことが想定されます。